

2024年9月15日

主日礼拝

①10:30 ②13:00

司会 ①熊元理貴 ②橋口栄隆

プレイズ

黙祷/祈禱

主の祈り

聖書

エペソ人への手紙 5章 8-11 節

VTR メッセージ 「光は闇に輝く」

武井博 名誉牧師

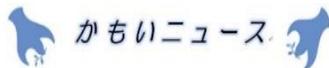
祈禱

頌栄

虫にも等しき [聖歌 613]

祝禱

柴田順一 牧師



- ◇ Welcome Home! 本日の YC カフェは第1礼拝のみオープンします。
- ◇ ブルーマウンテンブレンド アイスアールグレイ [各¥100]
- ◇ 本日の礼拝は、2020年9月12日に召天されました名誉牧師・武井博先生の懐かしいメッセージ(2016年11月)で共に天を仰ぎます!
- ◇ リビングライフ 10月号が届いています。どなたもお買い求め下さい。
- ◇ 来週も聖書入門クラス、再来週は信徒入門クラスです。
- ◇ 礼拝献金/什一献金/感謝献金等、受付前の木製献金箱をご利用ください。
- ◇ 献金口座「横浜カルバリーチャペル」三菱 UFJ 銀行大和支店 1204671

集会 & ミーティング	本日 10:30~	キッズチャーチ	4F 集合
	本日 11:50~12:10	賛美奉仕者会	4F
	本日 12:00~12:30	聖書入門クラス	5F
	水曜 19:30~20:30	バイブルラウンジ	4F
アクティビティ	火曜 10:00~12:00	子育て広場	5F



あなたがたは、以前はやみであったが、今は
主において光となっている。光の子らしく歩きなさい。
エペソ人への手紙5章 8節【口語訳聖書】

「水平線の向こう」



今年 2024 年は「ひょっこりひょうたん島」放送開始 60 周年で、故武井博名誉牧師の著書「泣くのはいやだ、笑っちゃおう」を再度読んでみた。「ひょっこりひょうたん島」は 1960 年代の NHK 大人気人形劇で、当時 NHK のディレクターであられた先生は、「私が 28 歳から 32 歳に至るまで、青春の日々を捧げた忘れがたい番組なのです」と記しておられる。

朝日新聞「天声人語」が書いたように、敗戦から立ち直った 1960 年代の日本の姿を表現するのに、東京五輪に合わせて開通した「新幹線」(高度経済/科学技術的成長要因)と、「ひょっこりひょうたん島」(文化/教育的要因)を挙げたのは、さすが「天声人語」だと思った。

「ひょっこりひょうたん島」は子供番組のはずであったが、その人気は昔も今も、子供から大人に至るまで全年齢層に及ぶのも、単なる TV 番組ではなく、文化的/歴史的/教育的価値のある作品であることを示している。

その人気は、奇抜な発想(流れ行く島!?) や、ユニークなキャラ(ドンガバチョやトラヒゲ) など、冒険ワクワク感と、「上り坂」日本の未来への期待と夢があって楽しい。また本のタイトルでもある「泣くのはいやだ、笑っちゃおう」のテーマソングも一度聞いたら忘れられない。これも原稿メ切日に、当時新橋にあった NHK へ向かう土壇場、東海道線客車でできた! というのも「ひょうたん島」らしい。車内で井上ひさしさんが突然ひらめいたという「丸い地球の水平線」はお見事! 人間の視界の限界であり平らで真っ直ぐな「水平線」は、本当は丸い地球の一部なのだとは、深い! そんな見える限界である水平線の向こうに、私達の見た事もない全く新しく丸い平和な世界が待っている。今日はそんな懐かしい武井先生のメッセージを通して、水平線の向こう側なる天を、共に垣間見ようではないか!

今週の聖書通読 ネハミヤ記 リビングライフ 9月

15 日	8:13-18	律法を学ぶ指導者たち
16 月	9:1-8	断食と悔い改め
17 火	9:9-18	不信仰についての回顧
18 水	9:19-31	カナンの地を与えられた神
19 木	9:32-38	自分たちの罪を告白する
20 金	10:1-31	契約の内容
21 土	10:32-39	神殿税の定め
22 日	11:1-9	進んでエルサレムに住もうとする人々

